

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

（平成27年度）

平成28年 11月

名古屋市観光文化交流局

目 次

1. 観光統計について	1
(1) 調査の目的と全国観光統計基準の採用	1
(2) 入込客数	1
(3) 観光消費額	4
2. 調査の集計結果	6
2-1 観光客の現状	6
(1) 調査の概要	6
(2) 調査結果	8
2-2 宿泊施設調査	30
(1) 調査の概要	30
(2) 宿泊施設の現状	31
(3) 宿泊客数	33
2-3 全国から見た名古屋の観光に関する評価	43
(1) 調査の概要	43
(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等	44
(3) 名古屋に対する評価	55
(4) 観光振興について	67
3. 資料編	72
(1) 主要観光施設への入込動向	72
(2) 名古屋のまちの印象	76
(3) 名古屋の観光について	81

巻末 調査票

注1：本文中で用いたブルーボネット、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。

注2：表、グラフに記してある居住地別などの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

◆調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成 27 年度）

1. 観光統計について

（１）調査の目的と全国観光統計基準の採用

①調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

②全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成 17 年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。平成 27 年度については、全国観光統計基準に適合する 84 地点の観光入込客数を把握した。

（２）入込客数

①観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成 27 年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約 6,844 万人であり、平成 26 年度と比較して約 142 万人増加（対前年度比率 102.1%）した。

主な増加の要因としては、平成 26 年 9 月にリニューアル開館した「久屋大通庭園フラリエ」、イケメンゴリラの人気や飲食物販施設を新規開業した「東山動植物園」が人気を博したこと及びデータから理由は推察できないが「熱田神宮」の入込客数が増加したことなどが考えられる。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(26) 21,478,478	(26) 22,625,801	(26) 22,361,685	(26) 23,556,367
	産業観光	(6) 2,199,456	(6) 2,155,078	(6) 2,175,112	(6) 2,274,288
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(16) 11,470,269	(16) 11,502,060	(16) 11,412,265	(16) 12,059,196
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(16) 7,873,300	(17) 6,610,033	(16) 8,502,057	(16) 8,021,482
	イベント	(22) 11,492,527	(21) 22,268,244	(20) 22,564,723	(20) 22,525,264
計		(86) 54,514,030	(86) 65,161,216	(84) 67,015,842	(84) 68,436,597

注：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

②観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 27 年度の観光入込客実人数は 4,331 万人であり、平成 26 年度と比較して 366 万人増加（対前年度比率 109.2%）した。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
観光入込客延べ人数（人）	54,514,030	65,161,216	67,015,842	68,436,597
平均訪問観光地点数	1.56	1.82	1.69	1.58
観光入込客実人数（万人）	3,494 万人	3,580 万人	3,965 万人	4,331 万人

③居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	34.2%	65.8%
観光入込客実人数	4,331 万人	1,481 万人	2,850 万人

④宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推定した。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
延べ宿泊客数（人）	6,950,791	7,509,115	7,523,002	8,453,709
宿泊客実人数（人）	5,796,736	5,979,400	5,855,719	6,529,101
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.20	1.26	1.28	1.29

⑤居住地別宿泊客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、宿泊施設に宿泊する入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

なお、居住地別宿泊客実人数については、平成 25 年度までは宿泊客の現状調査の回答により推計していたが、平成 26 年度から宿泊客の現状調査を実施しないものとしたため、観光客の現状調査の回答により推計した。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	0.8%	99.2%
宿泊客実人数	653 万人	5 万人	648 万人

⑥居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推定した。

観光入込客実人数を居住地別にみると、平成 27 年度の名古屋市内客は 1,481 万人であり、平成 26 年度と比較して 628 万人減少したものの、平成 25 年度との比較では 31 万人増加している。また、名古屋市外客は 2,850 万人であり、前年度と比較して 994 万人増加した。

また、平成 27 年度の宿泊客実人数は 653 万人であり、前年度と比較して 67 万人増加した。一方、平成 27 年度の日帰り客実人数は 3,678 万人であり、前年度と比較して 299 万人増加した。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
観光入込客実人数	計	3,494 万人	3,580 万人	3,965 万人	4,331 万人
	名古屋市内客	1,150 万人	1,450 万人	2,109 万人	1,481 万人
	名古屋市外客	2,344 万人	2,130 万人	1,856 万人	2,850 万人
宿泊客実人数	計	580 万人	598 万人	586 万人	653 万人
	名古屋市内客	48 万人	41 万人	14 万人	5 万人
	名古屋市外客	532 万人	557 万人	572 万人	648 万人
日帰り客実人数	計	2,914 万人	2,982 万人	3,379 万人	3,678 万人
	名古屋市内客	1,102 万人	1,409 万人	2,095 万人	1,476 万人
	名古屋市外客	1,812 万人	1,573 万人	1,284 万人	2,202 万人

(3) 観光消費額

①観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、観光総消費額を推計した。平成 27 年度の名古屋市内の観光総消費額は 3,800 億円であり、前年度と比較して 596 億円増加している。

宿泊客の総消費額は 1,720 億円であり、前年度と比較して 171 億円増加している。

日帰り客の総消費額について居住地別にみると、前年度と比較して、名古屋市内は 265 億円減少、名古屋市外は 690 億円増加している。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 26 年度	平成 27 年度
宿泊客実人数		586 万人	653 万人
日帰り客実人数	名古屋市内客	2,095 万人	1,476 万人
	名古屋市外客	1,284 万人	2,202 万人
宿泊客一人あたり消費額		26,422 円	26,353 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内客	3,527 円	3,215 円
	名古屋市外客	7,134 円	7,292 円
宿泊客総消費額		1,549 億円	1,720 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内客	739 億円	474 億円
	名古屋市外客	916 億円	1,606 億円
名古屋市内観光総消費額		3,204 億円	3,800 億円

②観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。

前年度に比べ、食事費は 167 億円、土産費は 363 億円、宿泊費は 72 億円、それぞれ増加し、交通費は 15 億円、入場料は 48 億円、その他消費額が 57 億円、それぞれ減少している。

総消費額は前年度と比較して、596 億円増加している。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 26 年度	平成 27 年度
食事費消費額	929 億円	1,096 億円
交通費消費額	453 億円	438 億円
土産費消費額	537 億円	900 億円
宿泊費消費額	512 億円	584 億円
入場料消費額	411 億円	363 億円
その他消費額	362 億円	419 億円
総消費額	3,204 億円	3,800 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外居住
食事費	7,000 円	1,168 円	2,120 円
交通費	1,888 円	442 円	1,134 円
土産費	5,453 円	750 円	1,966 円
宿泊費	8,948 円		
入場料	1,330 円	405 円	983 円
その他	1,734 円	450 円	1,089 円
合 計	26,353 円	3,215 円	7,292 円

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外居住	
食事費総消費額	457 億円	172 億円	467 億円	1,096 億円
交通費総消費額	123 億円	65 億円	250 億円	438 億円
土産費総消費額	356 億円	111 億円	433 億円	900 億円
宿泊費総消費額	584 億円			584 億円
入場料総消費額	87 億円	60 億円	216 億円	363 億円
その他総消費額	113 億円	66 億円	240 億円	419 億円
観光総消費額	1,720 億円	474 億円	1,606 億円	3,800 億円